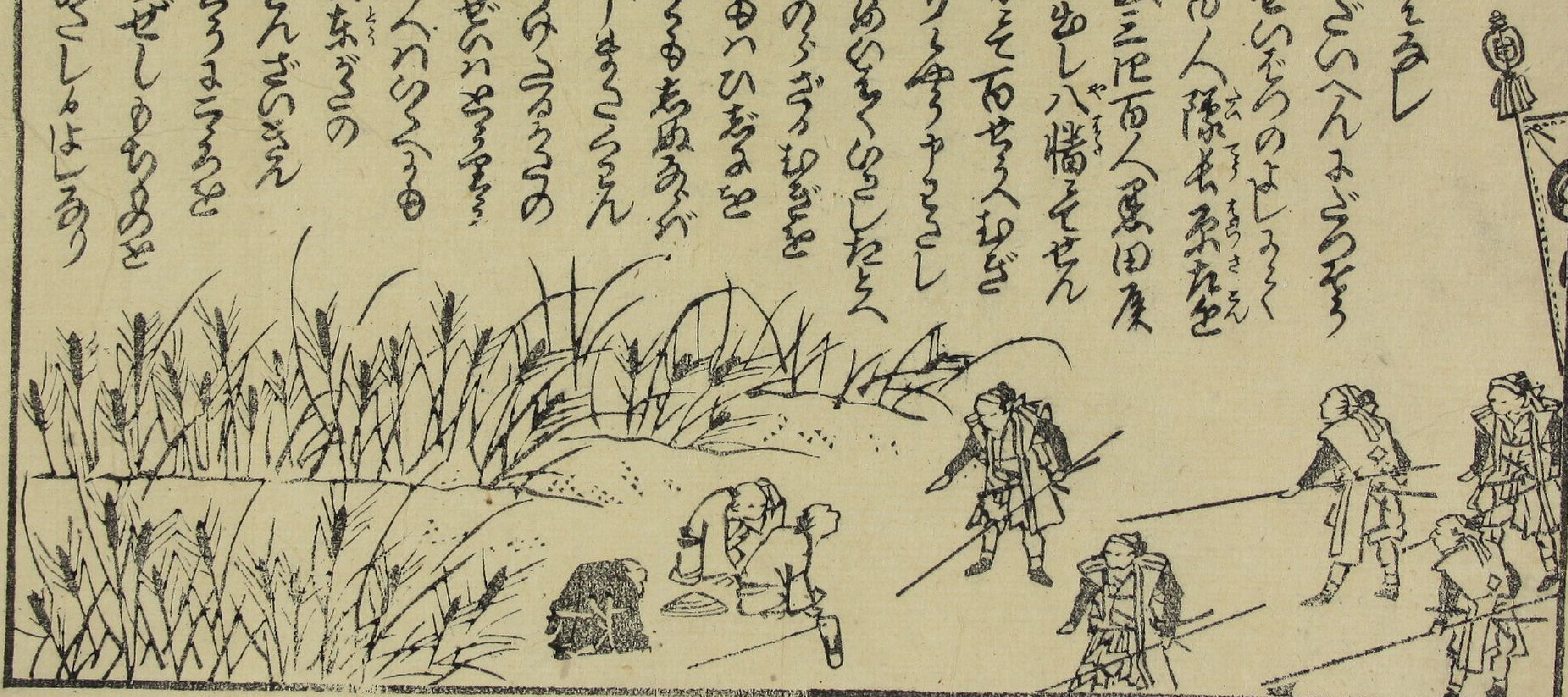
○壬戌八月六日
同六日下総の国
うりのだいへんのはなし

一天六日巳の刻まへうらのごいへんふぶろきう
人さむらいさしゐをせいぞうのよしみく
藤堂（とうど）殿御（た）人数凡八百人隊長（たいてう）東喜左衛（きちうさえ）
外に井伊殿に御人数三千百人黒田殿
先ぜい（さきぜい）二百人などをさし出し八幡（やはた）をせん
ぢんのまへより鉄炮（てつぽう）方そて百せう人むぎ
をかけのまへにかけりいりうちやうとし
ゆとぶる百姓とものうちはらひくだしたとへ
王めいかもせよいはぐころのかずかむぎを
うりとりくへい百せうどもへひおもせ
いくさよりおかおみしせうも表ゐるか
宿まのうへいさとおりやまへらうん
どうへ屋ぐし大さんどうゑうちうゐの
ぶゑん人またま屋よせのいかよりた
中ぜうのと貴人どのらくいんく うもの
此ひきをとれがい実東（くわんとう）ぎんの
此こくをせん一とやきんざのぎん
ぎうの百せうどもいちどうまこうるを
たへせくこぶんよかりぜしおちめを
高よぢなしじよりたいさしかはしあり